

私が小学生の頃のお話です。

ある日、担任の先生が黒板に字を書きながら、こんなことを話してくれました。

「・・・人は、『口』から、プラス『+』の言葉も、マイナス『-』の言葉も『吐』きますよね。だけど、マイナス『-』の言葉を使わないようにすると、『叶』という字になります。これは、『夢をかなえる』の『叶える』という字なのです・・・」

なぜ、先生がこの言葉を言ったのか理由は覚えていませんが、この話は、私の心に響きました。それ以来、私は、自分の口から発する言葉は、できるだけポジティブなものにしようと意識しています。

先日、同じように、漢字を使ったインパクトのあるメッセージを見つけました。それは、全国の少年院や学校などで、漢字を使って人生の大切さを説く「命の授業」を行っているゴルゴ松本さんのメッセージです。

=====

「兆」という字がある。例えば学校でいじめに遭って今、君は、生きるか死ぬか、その両方の兆しの中にいるぐらい悩んでいる。そんな時は今の自分の状態を、目偏（めへん）を加えて「眺」めてほしい。つらいな、嫌だな、死にたい。そこまで追い込まれているのなら、今度はしんのように変えて「逃」げていい。逃げるという選択肢は、生きているからできる。自分の命を守るためなら、学校も行かなくていい。逃げて、周りをもう一度眺めてみよう。落ち着いたら、今度は自分が成長できるように、手偏（てへん）に変えて、人生に「挑」んで行けばいい。（令和元年8月20日付「読売新聞」より）

=====

「いじめ」で、つらい思いをしている子どもたちの心に、届けたいメッセージです。

ちなみに、政府の自殺対策白書によると、過去10年では、8、9月になると小中高生の自殺が多く、昨年の未成年者の自殺者は599人で、前年度と比べると6%増えているのだそうです。

信頼できる大人との出会いで救われる子どももいます。家庭や学校だけではなく、子どもの様子に変化がないか、周囲の大人である私たちも、目を凝らして子どもたちを見守りたいですね。【A】



○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」>すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索